

平成25年10月30日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成25年7月～9月期実績、10月～12月期見通し)

《1》 調査時点 平成25年9月10日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
95企業 (回答率63.3%)

業種	企業数	城崎	竹野	日高	出石	但東	回答数
製造業	24	2	0	6	3	2	13
建設業	27	0	3	7	4	2	16
小売業	35	7	1	9	7	2	26
飲食業	20	4	0	3	4	1	12
宿泊業	23	3	4	6	0	0	13
サービス業	21	1	1	8	2	3	15
合計	150	17	9	39	20	10	95

《3》 調査項目

①売上高

②仕入単価

③採算性

④資金繰り

⑤景況感

⑥直面している経営上の問題

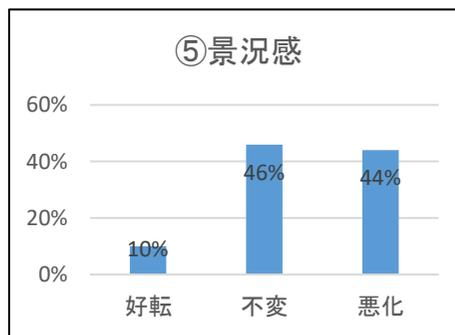
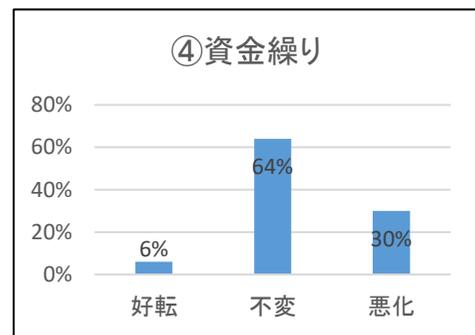
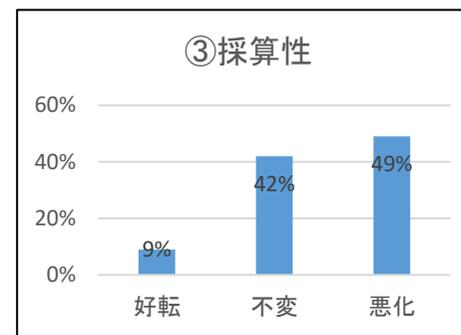
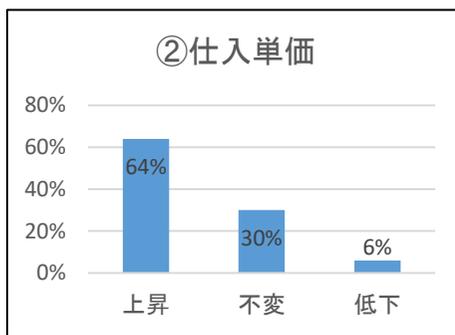
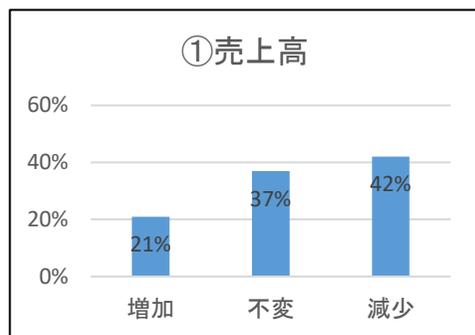
【平成25年7～9月期実績】

(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲20→) ▲12 (前期差8ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別売上高DIは、製造業、小売業、宿泊業が上昇し、建設業、飲食業、サービス業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期50→) 56 (前期差6ポイント増) となりプラス幅が拡大した。 業種別仕入単価DIは、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、建設業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲38→) ▲35 (前期差3ポイント増) となりマイナス幅が縮小した。 業種別採算性DIは、小売業、飲食業、宿泊業が上昇し、製造業が横ばい、建設業、サービス業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲19→) ▲20 (前期差1ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。 業種別資金繰りDIは、製造業、宿泊業が上昇し、建設業が横ばい、小売業、飲食業、サービス業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲21→) ▲30 (前期差9ポイント減) となりマイナス幅が拡大した。 業種別の景況感DIは、小売業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、飲食業、サービス業が低下した。

【平成25年10～12月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、今期と比べ▲32となり20ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別売上高DIは、製造業、サービス業が上昇し、建設業、小売業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、70となり14ポイントプラス幅が拡大する見通し。 業種別仕入単価DIは、製造業、建設業、小売業、飲食業、サービス業が上昇し、宿泊業が横ばいの見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲47となり12ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別採算性DIは、飲食業が上昇し、製造業、建設業、小売業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲29となり9ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別資金繰りDIは、すべての業種が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲27となり3ポイントマイナス幅が減少する見通し。 業種別の景況感DIは、製造業、サービス業が上昇し、小売業が横ばい、建設業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。

【1】前年同期比
前年同期（平成24年7月～9月）と比べた今期（平成25年7月～9月）の状況

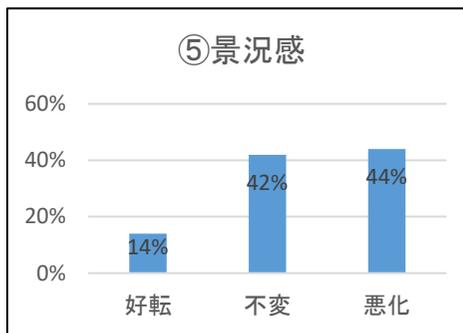
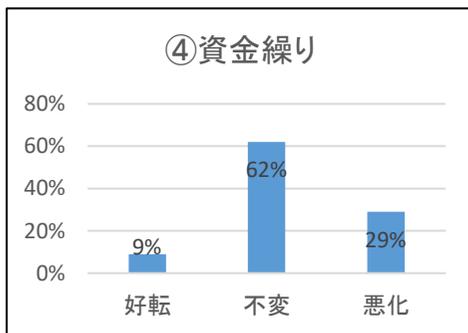
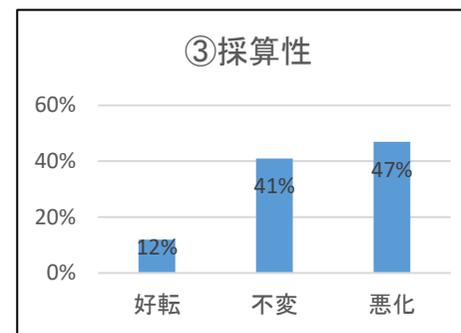
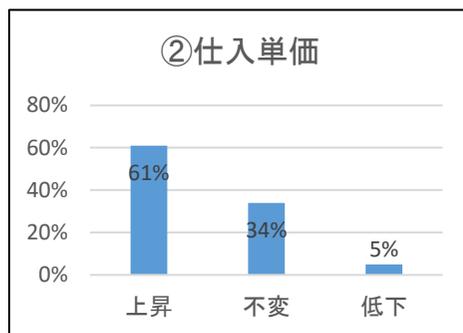
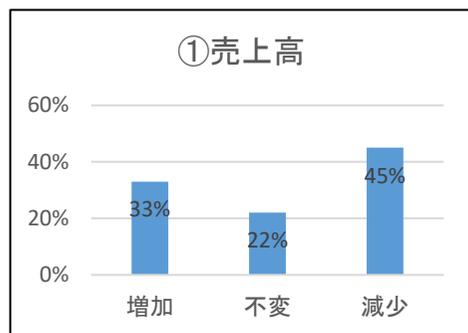


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲21	▲38	6	▲23	8	▲23	▲46
仕入単価	58	54	73	57	59	85	21
採算性	▲40	▲49	▲34	▲28	▲16	▲69	▲53
資金繰り	▲24	▲33	▲13	▲16	▲8	▲58	▲27
景況感	▲34	▲62	▲13	▲16	▲41	▲54	▲40

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（平成25年4月～6月）と比べた今期（平成25年7月～9月）の状況



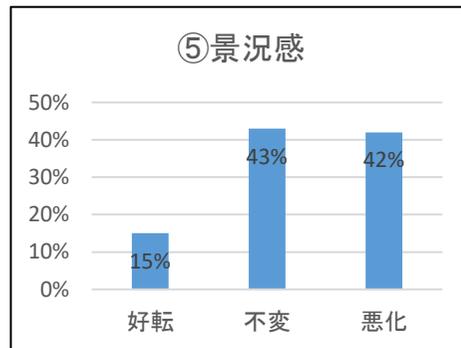
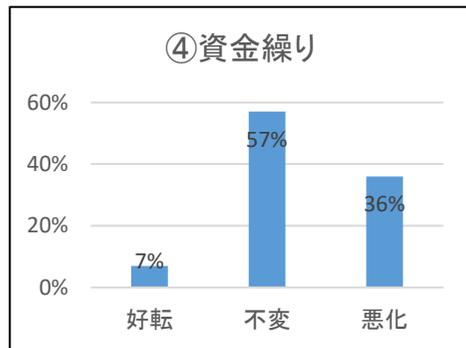
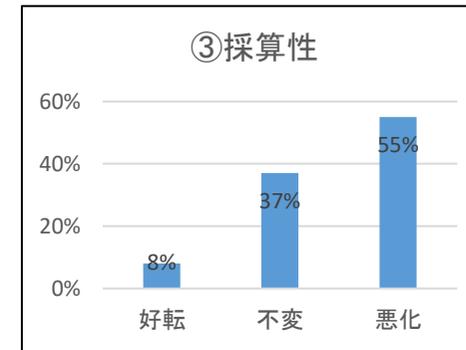
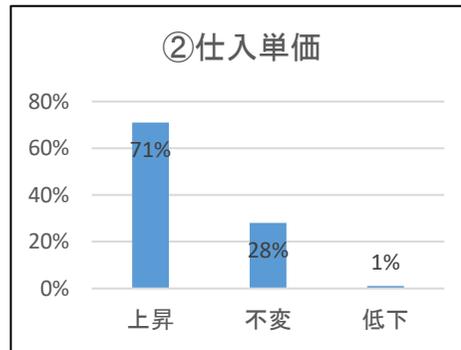
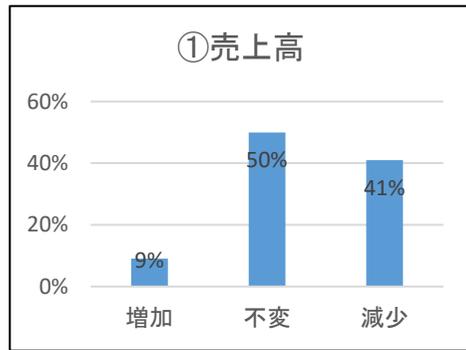
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲12	▲15	0	▲7	0	0	▲46
仕入単価	56	33	66	57	59	85	29
採算性	▲35	▲55	▲27	▲20	▲27	▲39	▲53
資金繰り	▲20	▲9	▲6	▲26	▲17	▲31	▲29
景況感	▲30	▲54	▲13	▲20	▲25	▲38	▲43

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】 来期の見通し

今期（平成25年7月～9月）と比べた来期（平成25年10月～12月）の見通し



【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲32	▲14	▲31	▲36	▲10	▲50	▲43
仕入単価	70	85	80	73	67	85	33
採算性	▲47	▲70	▲33	▲42	▲26	▲55	▲60
資金繰り	▲29	▲22	▲14	▲30	▲20	▲59	▲33
景況感	▲27	▲17	▲27	▲20	▲33	▲46	▲26

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】直面している経営上の問題点について

【全業種】

直面している経営上の問題点	件数	比率 (%)
消費者（製品）ニーズ変化への対応	27	30
仕入単価（原材料）の上昇	27	30
販売・受注単価の低下	24	26
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	13	14
事業資金の借入難	0	0
合計	91	100

【業種別】

直面している経営上の問題点（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
消費者（製品）ニーズ変化への対応	2	2	8	3	5	7
仕入単価（原材料）の上昇	5	5	6	5	4	2
販売・受注単価の低下	4	5	6	3	3	3
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	1	2	6	1	1	2
事業資金の借入難	0	0	0	0	0	0
合計	12	14	26	12	13	14

【5】自由コメント

1	中央と大企業の経済指標が上昇しているが、中小零細、地方にはその恩恵が届いておらず、これからコストの上昇圧力が高まる中競争激化という経営環境が予想される。そんな中、新しいニーズの掘り出しが今後さらに必要とされる。（製造業）
2	今期は受注高はまずまずだが、競争激化により粗利益が少なく、収益としては前期並みと考える。来期については、消費税アップによる民間工事の受注減少が予想され、大変厳しくなると考えられる。（建設業）
3	宿泊の料金を少し上げたおかげで売上は上がりますが、仕入れ値が高く利益にはむすびつかないのが悩みです。電気、灯油、ガスの値上がりもあり、苦しいです。（宿泊業）
4	全体的に原価の高騰が懸念される（業界傾向）。特に羽毛製品、ナイロン系統などの値上げが懸念される。食品なども食用油の値上げからすべてが引っ張られる傾向にある。結局、原油価格の高騰につられることが全てであろうかと思う。（小売業）
5	羽毛製品に関しては、この冬が一番の値上がりを見せるとのメーカーの見解が発表されている。（小売業）
6	消費税率のアップが4月以降特に影響してくる。（飲食業）